

# タヒチヌイトラベル発 TAHITI NUI TRAVEL タヒチプチ情報

2012年03月23日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。

みなさま、こんにちは！

タヒチは今日も快晴です。しかしまだ雨季のタヒチ、雨が降る日もありますが少しずつ空気も乾燥してきた気がします。

本日はランギロア島のご紹介、といっても空港についてです。

タヒチ島から直行便で約1時間、ツアモツ諸島にあるランギロア島はダイバー憧れの島として、またタヒチワインのブドウの産地として知られています。また宿泊施設の乏しいツアモツ諸島の中では、比較的ペンションなどもたくさんあるのでたくさんの旅行者が訪れる島でもあります。特に、昨年ホテル キアオラリゾート&スパがリニューアルオープンしてからは、多くの日本人のお客さまも訪れています。

ランギロア空港に到着して、国内線エアータヒチの機内より滑走路に降りると小さな空港の建物がお出迎え。かわいらしい“RANGIROA”の看板が見えます。飛行機は建物のすぐ近くに止まりますが、ランギロアの日差しは強いので、この距離でも肌がじりじりと焼けていくのを実感できます。



建物の中には空港施設(チェックインカウンターや荷物受取カウンター)以外はお土産物屋さんが1件とカフェテリアがあるだけですが、島の玄関口となる空港はいつもローカル達の社交場になっているようです。



滑走路と反対側に建物から一歩足を踏み出せば、目の前にはランギロアの美しいラグーンが見えます。

遮るものは何もなく、道一本あるだけです。まさにランギ「空」、ロア「広い」！！



タヒチ島からランギロア島までの間には、途中に小さな島が一つあるだけですが、ランギロア島上空にさしかかれば美しい島の様子を機体の両側でご覧いただけます。その上で、飛行ルートによりますが、筆者の搭乗した際には左側にブルーラグーン(ランギロア島の環礁内に出来た小さな美しい環礁)がきれいに見えました。

